



愛知県常滑市 「やきもの散歩道」にて

2008年9月撮影



常滑焼は日本六古窯（常滑・瀬戸・越前・信楽・丹波・備前）の一つです。

常滑市内には古い窯業の町並みを保存した「やきもの散歩道」があり、週末には多くの観光客が訪れます。そんな“散歩道”のあちこちに多孔陶管（セラダクトA）が窯屋跡の土台などにも使われており、その使用期間は55年を超えるものもあります。又、ケーブル保護管としては関門トンネルで約50年の使用実績があり、大切なケーブルを守り続けています。

私共は、セラミックの特性（腐らない・さびない・変形しない）を生かし、ケーブル保護管として“**1世紀（100年）超え**”を目指しています。



多孔陶管



昭和26年4月製造



昭和28年4月製造



昭和34年5月製造



昭和44年6月製造